

平成31年概況(速報)

平成31年の生産指数は輸送機械工業、プラスチック製品工業などが低下したことから4年ぶりのマイナスとなった。

○平成31年の主な数値の動向（調査産業計）

| | 原指数 | | |
|-----|-------|--------|-----------|
| | 指数 | 前年比(%) | |
| 生産 | 100.2 | ▲4.2 | 4年ぶりのマイナス |
| 出荷 | 97.4 | ▲5.6 | 4年ぶりのマイナス |
| 在庫 | 98.8 | 9.2 | 2年連続のプラス |
| 在庫率 | 97.5 | 10.7 | |

○生産指数は、原指数の前年同期比で、31年第1四半期から第4四半期にかけて低下したため、4年ぶりのマイナスとなった。

○出荷指数も、原指数の前年同期比で、31年第1四半期から第4四半期にかけて低下したため、4年ぶりのマイナスとなった。

○在庫指数は、原指数の前年同期比で、30年第1四半期で上昇、第2四半期で低下、第3四半期から第4四半期にかけて上昇したため、2年連続のプラスとなった。

○総合指数前年比の伸び率（上昇又は低下）に影響を与えた主な業種

<生産>低下：輸送機械工業（▲7.0%）、プラスチック製品工業（▲10.6%）

<出荷>低下：輸送機械工業（▲6.8%）、電気機械工業（▲10.6%）

<在庫>上昇：化学工業（13.2%）、輸送機械工業（16.3%）

○業種別前年比が特に大きかったもの

<生産>上昇：電子部品・デバイス工業（12.2%）／低下：家具製品工業（▲21.4%）

<出荷>上昇：電子部品・デバイス工業（11.9%）／低下：家具製品工業（▲22.2%）

<在庫>上昇：電子部品・デバイス工業（84.6%）／低下：非鉄金属工業（▲22.2%）